・ 「吐き気がある方の お食事』

2012年11月8日(木)10:30~12:30

第96回柏の葉料理教室

国立がん研究センター東病院 栄養管理室

がん患者さんにおける吐き気の原因





(特に消化管、肝臓、脳)

特定の薬剤





嘔吐中枢



以前の治療時の 吐き気・嘔吐の経験

嘔吐による体への影響

栄養分、水分、電解質の損失 (食べた物と消化液が失われる)



苦しい経験不安感

- ◎ 脱水・栄養状態・体力・免疫力の低下
- ◎ 精神的負担の増大

もしも嘔吐をしてしまったら・・・

- 1 身の回りを清潔にし、うがいをしましょう
 - ・嘔吐後の不快感を減らしましょう
 - ・レモン水や冷たい番茶等は、さっぱりしやすいです -------



② 落ち着くまで安静に過ごしましょう

消化管粘膜が過敏になり、食べることで症状を 増長する(ぶり返す、長引く等)ことがあります

③"水分補給"をしましょう

- こまめに、少量ずつ摂取しましょう
- 電解質も補給できる、飲料がおすすめです。 (経口補水液、スポーツドリンク、スープ等)
- ・水分が摂れない状況が続く場合は、病院に相談しましょう



水分補給

経口補水液

OS-1 (大塚製薬)

- ※体内へ速やかに吸収 される成分組成。
- ※スポーツドリンクに比べ 味はしょっぱい。



スポーツドリンク

※吸収されやすい組成 ではあるが、美味しさ が重視されている。



※味はやや甘い。 ポカリスエット

(大塚製薬)

スープ各種

- ※一般市販食品ではあるが、適度に塩分を含み、 水分、塩分補給が期待できる。
- ※嘔吐後の食べ始めにも適する。
- ※好みの味が選択できる。

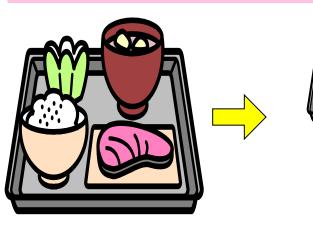
市販のスープ各種(味の素株式会社)





吐き気・嘔吐がある時の工夫

●小盛りにしましょう









- ・食事量が多くなるほど消化管 への負担は増加します
- ・調子が良くない時は、控えめ・ 食べきれる量に調整しましょう
- 間食を上手に取り入れましょう

●消化の良い食品を中心に摂りましょう

- ・固いもの、油っこいものは、消化管に負担がかかります。
- ・消化の良くないものは、少量に留めましょう (症状が重い場合は、控えた方がよいでしょう)

≪消化の良い食品・料理≫

以下のような食品を中心に用い、やわらかく調理しましょう。(煮る、蒸す、茹でる)

< 主 食 >

ご飯、粥、パン、 うどん・そうめん等の麺類





< 主 菜 >

脂肪の少ない肉、魚 卵、豆腐







< 副 菜 >

繊維のやわらかい野菜類 芋 類







< その他 >

乳製品、果物 (酸味の強い柑橘類、パイナップルは控えましょう)



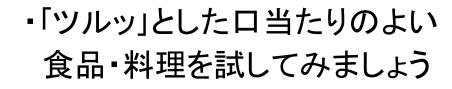




●さっぱりとした口当たりの良いものを選びましょう





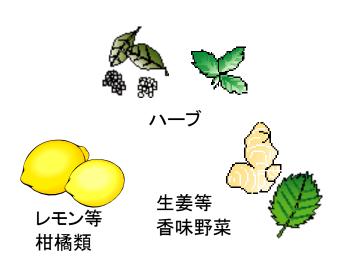






・喉ごしのよいもの、みずみずしいもの は比較的食べやすいでしょう

●においを抑えましょう



- においの強い食材は避けましょう (にんにく、ニラ、らっきょう等)
- •料理を冷ますと、匂いを感じにくくなります
- •爽やかな香りを利用してみましょう
- ■香辛料は香り付け程度に楽しみましょう

吐き気があるときのメニュー

o けんちんつけ麺 すだち添え (263kcal たんぱく質10.3g 食塩相当量1.4g) 具沢山けんちんつけ汁(温)+そうめん(冷) = 一皿で栄養バランス良好 うどん → そうめんでスッキリ喉ごし良好 すだちでさっぱり爽やかな料理に

o 具だくさん彩り卵焼き(91kcal たんぱく質 6.1g 食塩相当量0.7g)

市販惣菜を具材に用い、調理の手間を軽減 冷めても美味しい豪華具入り卵焼き

o 冷めても美味しい大根もち (101kcal たんぱく質 3.3g 食塩相当量0.6g)

甘い物が苦手な方の間食に最適 ハム,桜えび,チーズの旨味で冷めても美味

o とろろドレッシング サラダ (23kcal たんぱく質 0.8g 食塩相当量0.4g)

みずみずしく食感の良い、せん切りサラダとろろと市販ドレッシングの変わりさっぱりだれ

o もち! ふわ! ヨーグルト蒸しパン (155kcal たんぱく質 3.9g 食塩相当量0.2g)

高栄養のデザート、間食にもお勧め ヨーグルトの使用でもち!ふわ!な仕上がり

栄養量

エネルギー633kcal たんぱく質24.4g 食塩相当量3.3g



• • けんちんつけ麺 すだち添え

o 材料(2人分)

そうめん(乾) 小2束(100g)

すだち 1個

(けんちんつけ汁)

鶏むね肉 20g (皮付き)

木綿豆腐 1/10丁

油揚げ 1/3枚

ごぼう 1/6本

大根 40g

人参 1/10本

しめじ 1/10パック

青葱 4本

だし 140ml

めんつゆ 60ml (ストレート)

酒 小さじ1

- ①鶏むね肉は皮付きのまま小さく切る。木綿豆腐は1cmのさいの目切り、油揚げは油抜きをし、短冊に切る。ごぼうはささがきにし、水にさらしてアクを抜き、水気を切る。大根、人参は銀杏切り、しめじは石突きを取り、ほぐす。青葱は、適当な長さのざく切りにする。
- ②圧力鍋にごぼう、大根、人参、油揚げ、鶏むね肉、しめじ を入れ、だしとめんつゆを加える。
- ③フタをし、強火で加熱する。沸騰し圧力がかかったら火を弱め、 4~5分煮た後、火を止める。放置して冷ます。
- ④圧力が下がったら、フタを開け、酒、木綿豆腐、青葱を加え、 ひと煮立ちさせて火を止め、器に盛り付ける。
- ⑤そうめんを熱湯で茹でる。茹で上がったら、ザルに移し、 流水で粗熱をとり、よくもみ洗いし、水気を切る。
- ⑥そうめんを皿に盛り、半分に切ったすだちを添え、好みで絞る。

・・・ 具だくさん彩り卵焼き

o 材料(2~3人分)

筑前煮 小1/2パック(50g) サラダ油 小さじ1/2

(市販惣菜)

鶏卵 L玉2個 青のり 少々

だし汁 大さじ1.5

砂糖 小さじ1/3

塩 小さじ1/10

酒 小さじ1/2

- ①オーブンを170℃に予熱しておく。
- ②筑前煮を粗みじんに切る。
- ③鶏卵は、1個分の卵黄を取り分けて残しておく。 他は割りほぐし、塩、砂糖、酒、だし汁(2/3量)を加えて 調味する。筑前煮を加え混ぜる。
- ④フライパンに油を熱し、③を入れ、かき混ぜながら半熟状に加熱する。クッキングシートを敷いた型(流し箱、天板等)に移し、取り分けた卵黄をだし汁(1/3量)でゆるめ、上に薄く流す。
- ⑤青のりをふり、170°Cのオーブンで約10分焼く。 冷めたら切り分け、器に盛り付ける。

冷めても美味しい大根もち

o 材料(2人分)

大根

塩

白玉粉

水

ロースハム

プ[°]ロセスチース^{*}

さくらえび

青葱

60g

小さじ1/10

大さじ2

大さじ1弱

1/2枚

10g

小さじ1.5

少々

片栗粉

小さじ2

胡椒

少々

サラダ油

小さじ1

ごま油

小さじ1/4

くつけだれ>

醤油

適量

練り辛子

少々

- ①大根はせん切りにし、ボールに入れ、塩をまぶし、 しばらく置き、しんなりさせる。絞って水気を切っておく。 ハムは細切り、チーズはさいの目、 さくらえびはみじん切り、青葱は小口切りにする。
- ②大根の入ったボールに、白玉粉、水を入れる。 白玉粉をつぶしながら混ぜ合わせる。 ハム、チーズ、さくらえび、青葱を入れ、片栗粉、胡椒を加え、さらに混ぜる。
- ③粉っぽさがなくなったら、人数分に分け、円盤状に成形 する。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、③の両面を焼く。 仕上げにごま油を回しかけ、火を止める。
- ⑤器に盛り付け、醤油、練り辛子を添える。

••• とろろドレッシングサラダ

o 材料(2人分)

<サラダ>

長芋 30g

大根 20g

きゅうり 1/5本

人参 1/20本

ラディッシュ 1玉

くとろろドレッシング>

長芋(とろろ芋) 小さじ2杯分

和風ドレッシング 小さじ2

(ノンオイル)

レモン汁 小さじ1/5

- ①長芋は皮をむき、分量通り、サラダ用とドレッシング用に 分ける。サラダ用はせん切り、ドレッシング用はすりおろす。
- ②大根、きゅうり、人参はせん切りにしておく。 ラディッシュは根、茎を取り、薄切りにする。 冷水にさらし、水気をきっておく。
- ③サラダ用の長芋、大根、きゅうり、人参、ラディッシュを 合わせ、器に盛り付ける。
- ④ドレッシング用のすりおろした長芋、和風ドレッシング、 レモン汁を合わせ、ドレッシングを作り、サラダにかける。

••• もち!ふわ! ヨーグルト蒸しパン

o 材料(4人分)

小麦粉80gベーキングパウダー 小さじ1砂糖大さじ3鶏卵1個

プレーンヨーグルト 大さじ3 サラダ油 小さじ1 バニラエッセンス 少々 りんご 4/8切

- ①ボールに小麦粉、砂糖、ベーキングパウダーを合わせ、 振るっておく。
- ②割りほぐした卵、ヨーグルト、サラダ油、バニラエッセンスを ①に加え、泡立て器で混ぜる。
- ③カップケーキ用等のカップをココット皿やコーヒーカップ等に 入れ、②を適量流し入れる。
- ④鍋やフライパンに並べ、水を2cm程入れる。 強火で沸騰したら中火にし、10分蒸す。 竹串を刺し、生地が付いてこなければ出来上がり。
- ⑤りんごは木の葉型、うさぎ型等に 飾り切りし、蒸しパンに添える。



